

2018-12-3 NO.18 (2018 vol.2)



大学 e ラーニング協議会ニュースレター

■ 発行：大学 e ラーニング協議会 広報委員会

1. 大学 e ラーニング協議会/日本リメディアル教育学会 合同フォーラム 2018 (ご案内)

最近では学校教育、社会教育、企業内等の教育など、ありとあらゆる教育活動において ICT 活用が進められています。しかしながら、ICT を活用した教育は、ともすれば ICT 機器を使うことが目的となってしまう、なんのためにそれを使うのかが曖昧になっている事例も多くなっているのではないのでしょうか。ICT を活用した教育に授業設計 (Instructional Design : ID) の理論を繋げることで、ICT 機器がより一層その強みを発揮するのではないかと私たちは考えます。

そこで、当フォーラムでは「授業設計理論と ICT 活用教育の接続」をテーマとして、1 日目(3 月 14 日)午前は、簡単に電子書籍を作成出来る次世代の電子書籍型オンライン学習システム (CHILO Book) と協議会が提供している共通基盤教材の利用事例の紹介をワークショップ形式で行います。午後は、熊本大学の平岡斉士先生・合田美子先生の合同基調講演「ID (Instructional Design) の理論と e-Learning への実装」に続き、開催校である山梨大学の森澤正之先生が反転授業に関する事例紹介を行います。さらに、ポスターセッションでは、ID を ICT 活用教育に繋いでいくための課題とその解決を目指した取組事例、その他 ICT 活用教育に関わる取り組みを幅広く募集します。

また、2 日目(3 月 15 日)は、日本リメディアル教育学会の ICT 活用教育部会・学習支援部会と本協議会の共催企画とします。午前の口頭発表の部では、幅広く (入学前教育・リメディアル教育・初年次教育・キャリア教育・英語・日本語・理数系・学習支援・ICT 活用・コミュニケーション能力育成・その他など) 分野を設け、実践事例の発表を行います。午後は、近年徐々に設置が進められている「学修 (習) 支援センター」における支援の事例報告や支援活動への ICT 活用の提案について具体的に議論するシンポジウムを開催します。

二日間にわたる会へのご参加を通じて、授業そのものと授業外の支援における ICT 活用に関する理解と議論を深める機会としていただければ幸いです。

1) 合同フォーラム詳細

テ	マ	授業設計理論と ICT 活用教育の接続
主催・共催		主催：大学 e ラーニング協議会、日本リメディアル教育学会 共催：山梨大学
日	程	(1 日目) 2019 年 3 月 14 日(木) 大学 e ラーニング協議会 総会・フォーラム (2 日目) 2019 年 3 月 15 日(金)

	日本リメディアル教育学会 (ICT 活用教育部会・学習支援部会) / 大学 e ラーニング協議会 合同研究会
会 場	山梨大学 甲府キャンパス (山梨県甲府市武田 4-4-37) (1 日目) 大村智記念学術館 大村記念ホール (2 日目) 総合研究棟 (Y 号館)
対 象 者	大学 e ラーニング協議会加盟校教職員ならびに日本リメディアル教育学会会員、その他教育関係者
案 内 ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.cccties.org/event/e20190314/
そ の 他	2 日目のシンポジウムのみ、ライブ配信を予定しております。 詳細が決定いたしましたらホームページよりお伝えいたします。

2) プログラム

(1 日目) 3 月 14 日(木)

■ 企業展示 (11:00~17:10)

■ 午前：大学 e ラーニング協議会 ワークショップ

09:00~ 受付開始

09:30~11:00 ワークショップ

1. CHiLO Book の演習

2. 共通基盤教材の利用事例(入学前教育/初年次教育)

■ 午後：大学 e ラーニング協議会 総会・フォーラム

12:00~ 受付開始

13:00~13:30 大学 e ラーニング協議会 総会

13:40~14:00 大学 e ラーニング協議会 フォーラム 2018 開会

14:00~14:40 基調講演：ID の理論と e-Learning への実装
平岡 齊士 氏・合田 美子 氏

14:50~15:30 開催校実践報告：山梨大学の反転授業の取り組み

15:30~16:00 出展企業の紹介

16:10~17:10 ポスターセッション

17:20~17:30 閉会

19:00~ 情報交換会 ※甲府駅周辺

(2 日目) 3 月 15 日(金)

■ 企業展示 (11:00~16:00)

■ 日本リメディアル教育学会/大学 e ラーニング 協議会 合同研究会

08:30~ 受付開始

09:00～12:40	口頭発表
13:45	シンポジウム開会
13:45～14:45	話題提供 1. 富永 敦子 氏 (公立ほこだて未来大学) 2. 山田 政寛 氏 (九州大学)
14:45～15:45	全体討論・質疑応答 司会：合田 美子 氏 (熊本大学)
15:45～16:00	閉会

■ シンポジウム概要

本シンポジウムでは、特徴のある学修（習）支援について出来る限り具体例を交えて発表することで、参加者が自身の環境で応用しやすい「情報の提供・課題の共有・新たな知見」を得ることができるようになります。たとえばアメリカ合衆国では、CRLA（College Reading & Learning Association）がチュータートレーニング認証制度を設けるなど、組織だった支援体制がみられます。日本でも2大学において当該認定証を発行することが認められていますが、このような活動内容について理解を深めることは、今後の学修（習）支援のありかたを探るうえで有用でしょう。さらに、センターの運営でICTがどのように利用できるかについて、eポートフォリオ等のデータの蓄積のやり方や、蓄積されたデータの分析・活用についての考察を行います。また、ラーニング・アナリシス等の理論に基づいた、これからの学修（習）支援のあり方を示していきます。

なお本シンポジウムの記録は、学会のHPで報告し、後日、内容を参照できることが将来の発展につながると考え、公開を行います。

3) 口頭発表・ポスター発表の募集

最近では学校教育、社会教育、企業内等の教育というありとあらゆる教育活動において、ICT活用が進められています。しかしながら、ICTを活用した教育はともすれば、ICT機器を使うことが目的となっており、なんのためにそれを使うのかが曖昧になっている事例も多くなっているのではないのでしょうか。ICTを活用した教育に授業設計（Instructional Design：ID）の理論を繋げることで、ICT機器がより一層その強みを発揮するのではないかと私たちは考えます。

ポスターセッションでは、IDをICT活用教育に繋いでいくための課題とその解決を目指した取組事例、その他ICT活用教育に関わる取り組みを幅広く募集します。

口頭発表では、幅広く（入学前教育・リメディアル教育・初年次教育・キャリア教育・英語・日本語・理数系・学習支援・ICT活用・コミュニケーション能力育成・その他など）分野を設け、実践事例の発表などを広く募集します。

発表募集要項

■ ポスター発表

募 集 テ ー マ	ID を ICT 活用教育につないでいくための課題とその解決を目指した取組事例、その他 ICT 活用教育に関わる取り組みを幅広く募集します。
募 集 件 数	6 校程度
申 込 方 法	下記申込ページより、発表タイトル (40 字以内)、発表内容要旨 (200 字以内) を明記の上、お申し込みください。 https://www.cccties.org/event/e20190314/
申 込 〆 切	2018 年 12 月 27 日 (木)
予 稿 集 原 稿 提 出 〆 切	2019 年 2 月 15 日 (金)
その他	搬入や設営、撤収などについては、追って、代表幹事校より個別にご連絡させていただきます

■ 口頭発表

募 集 テ ー マ	入学前教育・リメディアル教育・初年次教育・キャリア教育・英語・日本語・理数系・学習支援・ICT 活用・コミュニケーション能力育成・その他など幅広く募集します。
募 集 件 数	発表時間 20 分 (発表 15 分、質疑 4 分、交代 1 分) × 22 件程度
申 込 方 法	下記申込ページより、発表タイトル (40 字以内)、発表内容要旨 (200 字以内) を明記の上、お申し込みください。 https://www.cccties.org/event/e20190314/
申 込 〆 切	2018 年 12 月 27 日 (木)
予 稿 集 原 稿 提 出 〆 切	2019 年 2 月 15 日 (金)

2. 協議会よりお知らせ

1) 共通基盤システム活用のご案内

協議会では、文部科学省の補助事業で行ってございました大学間共同教育連携事業の成果を引き継ぎ、本協議会会員向けサービスとして、基盤教育向けの e ラーニング教材の共同利用を開始しました。数学（中学・高校・大学初級）、日本語、SPI 対策をまずは利用できます。

会員大学は、試験利用期間（1 年間程度）は無料で、本格利用に際しては原則として年間 7 万円で、どの科目でも利用可能としています。詳しくは、下記までご連絡ください。

千歳科学技術大学 理工学部 教授 小松川浩 hiroshi@photon.chitose.ac.jp
千歳科学技術大学 理工学部 助教 山川広人 yamakawa@photon.chitose.ac.jp

2) 大学間連携 FD 研修 要請のご案内

協議会では、ICT を活用した FD 研修やシステムに関する利用説明に対する、大学間の調整を行っています。

上記の共通基盤を活用した事例の紹介、入学前教育の実践事例、反転学習の取組み、また、Moodle の運用方法等、連携大学が提供可能な情報について、講師派遣の形で、各大学の FD 研修などに派遣をいたします。

協議会 HP の「視察・講師派遣」ページをご覧ください、ご興味のある大学は、大学 e ラーニング協議会 事務局 (ucla-dispatch@googlegroups.com) までご連絡ください。

「視察・講師派遣」ページ：

<https://www.ucla.cloud/index/dispatch.html>

3) 加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局 (ucla_offices@googlegroups.com) までご連絡下さい。

協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニューズレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

3. 書籍のご案内

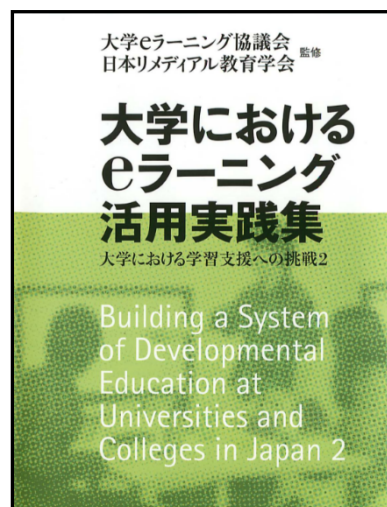
(1 冊目)

日本リメディアル教育学会 (<http://jade-web.org>) と本協議会が監修した書籍「大学における e ラーニング活用実践集 大学における学習支援への挑戦 2」が、2016 年 1 月 30 日に、ナカニシヤ出版から発行されました。

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b214708.html>

この書籍は、大学教育現場での ICT を活用した教育実践とアクティブラーニングを含む新たな教育方法、教育効果の評価に関する知見をまとめ、さまざまなノウハウとともに紹介したものです。

ご購入、図書館への推薦など、ご周知くださいますようお願いいたします。



(2 冊目)

日本リメディアル教育学会と本協議会の協力により出版された書籍「大学初年次における日本語教育の実践: 大学における学習支援への挑戦 3」が、2018 年 3 月 30 日に、ナカニシヤ出版から発行されました。

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b353169.html>

この書籍は、大学教育現場である国立・私立・短期大学で、初年次教育に日本語教育を取り入れていくために必要な全学的な普及推進、科目運営、体制、ICT 活用を含む実施方法などを具体的な事例も踏まえて紹介。教育方法、教育効果の評価に関する知見をまとめ、さまざまなノウハウとともに紹介したものです。

ご購入、図書館への推薦など、ご周知くださいますようお願いいたします。



大学 e ラーニング協議会ニュースレター NO.18

発行：大学 e ラーニング協議会 広報委員会

発行日：2018 年 12 月 3 日

お問合せ：uela_offices@googlegroups.com